



CHIBABANK

# 中国レポート

2023年12月号

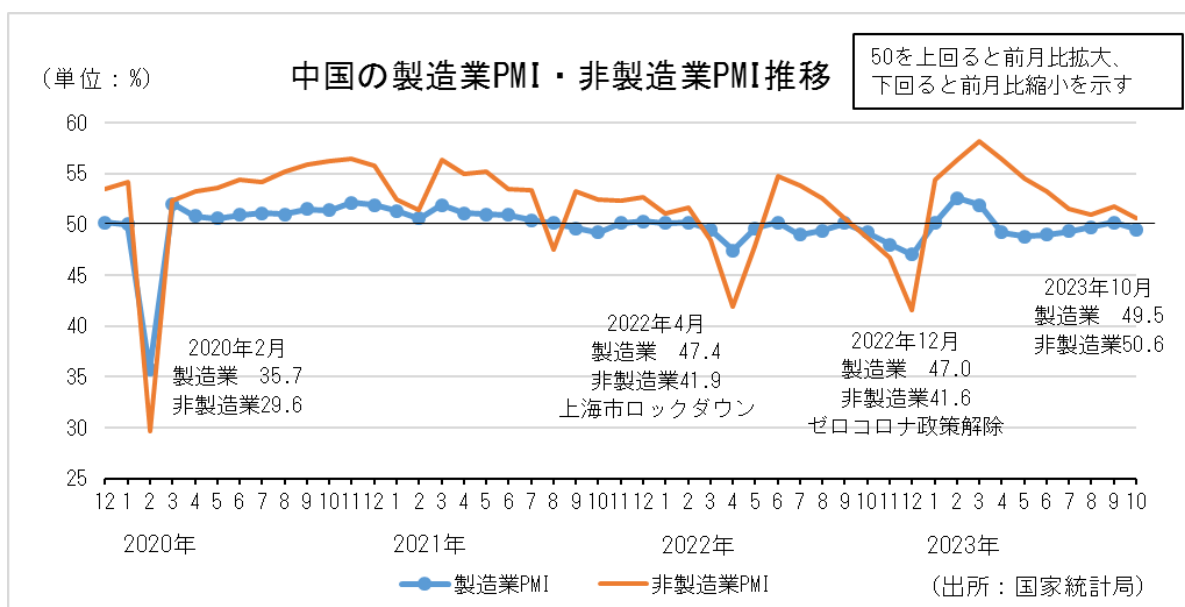
中国の金融経済動向について

中国のEC市場について

千葉銀行上海駐在員事務所

## ○中国の金融経済動向について

2023年10月31日に中国国家統計局（以下、同局）と中国物流購買連合会が発表した2023年10月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は49.5と、好不況を判断する節目の50を下回りました。前月の9月は6か月ぶりに50を超えましたが、再び節目を下回る結果となりました。



製造業PMIの算出に用いられる5つの項目のうち、2023年10月に関しては、「生産：50.9」及び「サプライヤー納期：50.2」がそれぞれ50を上回ったものの、「新規受注：49.5」及び「原材料在庫：48.2」「雇用：48.0」は50を下回りました。業種別にみると、自動車や鉄道、船舶、航空宇宙関連設備等の生産指数が好調だった一方、繊維や化学製品、鉄鋼精錬・加工等は需要不足により低調となりました。

同局は国慶節の連休（10月1日～6日）や、連休前の需要前倒しに影響したとしても、景気回復の基盤を更に強化する必要があるという認識を示しました。

また、同日に発表された2023年10月の非製造業PMIは50.6と10か月連続で節目を上回ったものの、前月から1.1ポイント下落しました。旅行消費関連である鉄道・航空運輸、宿泊施設、飲食店などが好調だった一方、不動産や資本市場サービスは低調となりました。

中国政府は今年7月以降、各種内需喚起策や国債増発などの景気下支え策を発表しており、景気持ち直しの効果が現れるか注目が集まりそうです。

## ○中国の EC 市場について

### 1. はじめに

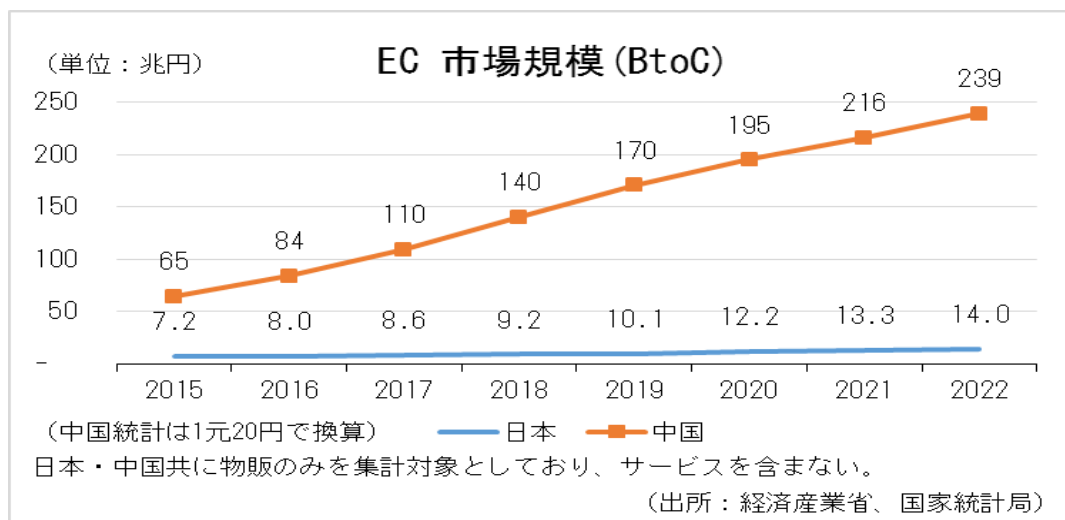
中国では、コロナ禍前からスマートフォンを利用したモバイル決済が広く普及しています。あらゆる支払いの場面でモバイル決済が当たり前となっており、国民の多くは現金を持ち歩かずに生活しています。モバイル決済の普及は EC（オンラインショッピング）の拡大に繋がり、経済大国の米国の EC 市場をも凌ぐ、世界一の市場規模に成長しています。

このように日本企業が中国国内で販路を拡大する機会が増えている一方で、ライブコマース\*やクイックコマース（即時配達小売、Q コマース）の拡大など、市場に変化も見られます。今回は、成長が著しい中国の EC 市場についてレポートいたします。

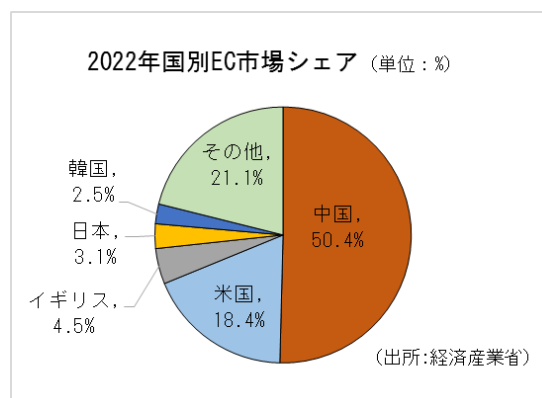
※主に SNS や動画配信などのサービスを活用して、インフルエンサーなど知名度の高い人物が商品の紹介や販売活動を行う手法のこと。

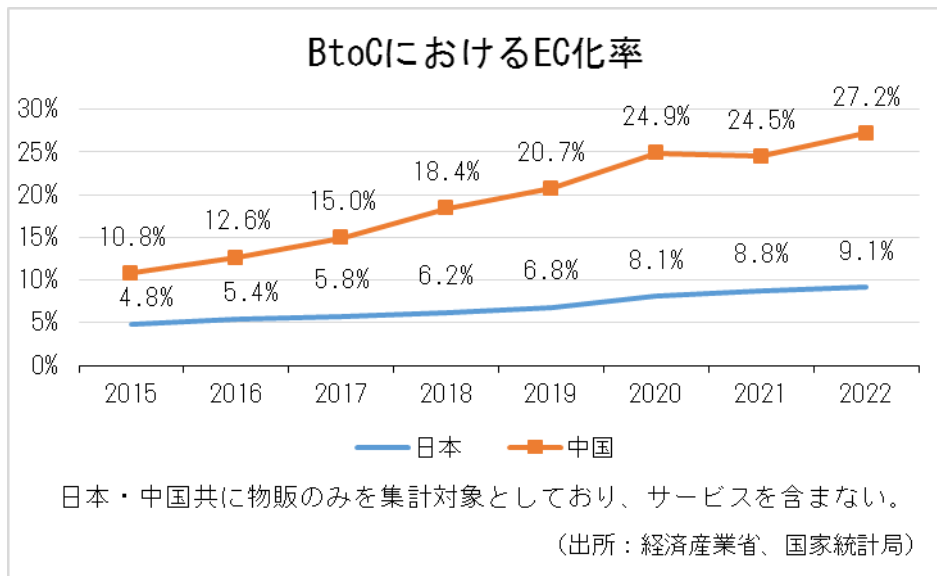
### 2. EC 市場の動向について

日本においても EC 市場は年々拡大していますが、中国では日本を圧倒するペースで拡大しており、2022 年現在、世界シェアの 50.4%を占めるに至っています。

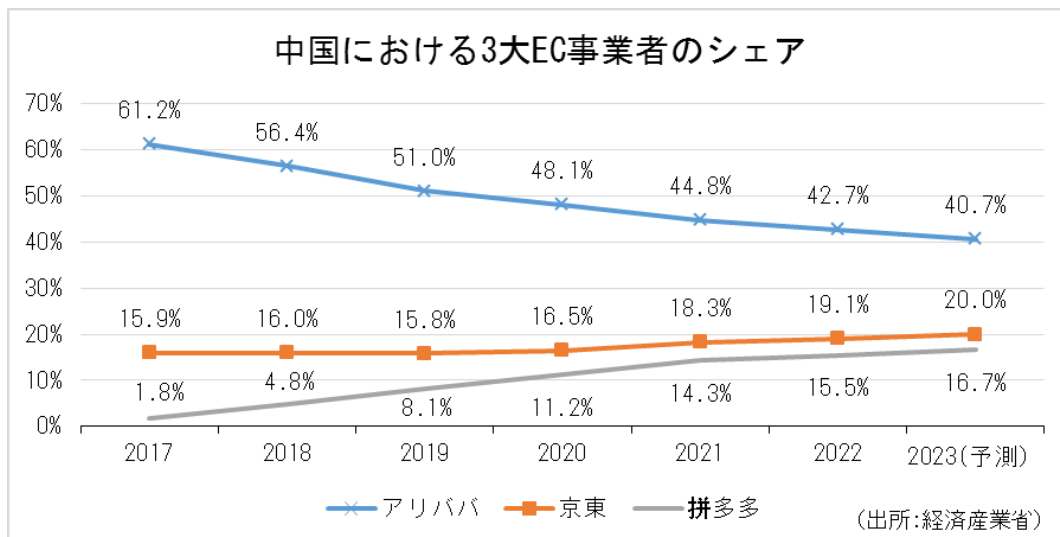


EC 化率（全ての商取引金額に占める EC の割合）も年々上昇しており、2022 年に日本が 9.1%であったのに対し中国は 27.2%と、日本と比べて EC を利用する人の割合が多いことが分かります。





中国のEC市場は中国大手ECプラットフォームであるアリババや京東といった国内勢が高いシェアを誇っています。2017年にはアリババが61.2%と圧倒的なシェアを有していましたが、ここ数年は他のEC事業者もSNSやライブコマースとの連携でシェアを徐々に拡大してきた結果、下表のとおり、アリババのシェアは近年縮小傾向にあります。商品別では、衣料品や日用品などの購入時にECを利用する消費者が多いようです。



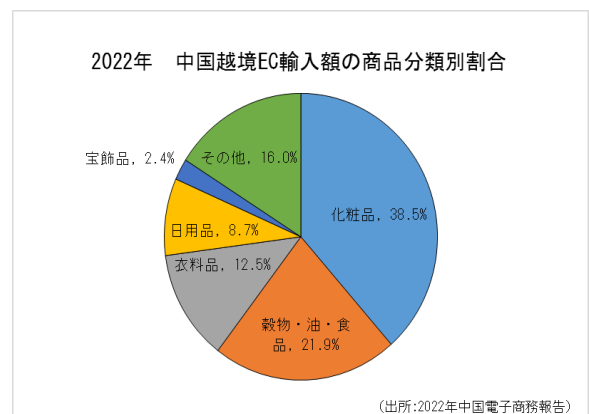
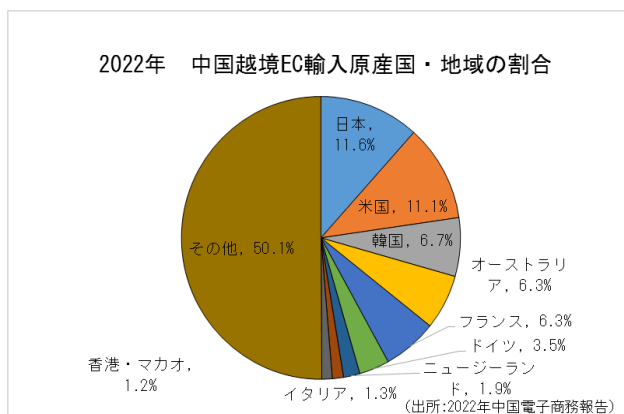
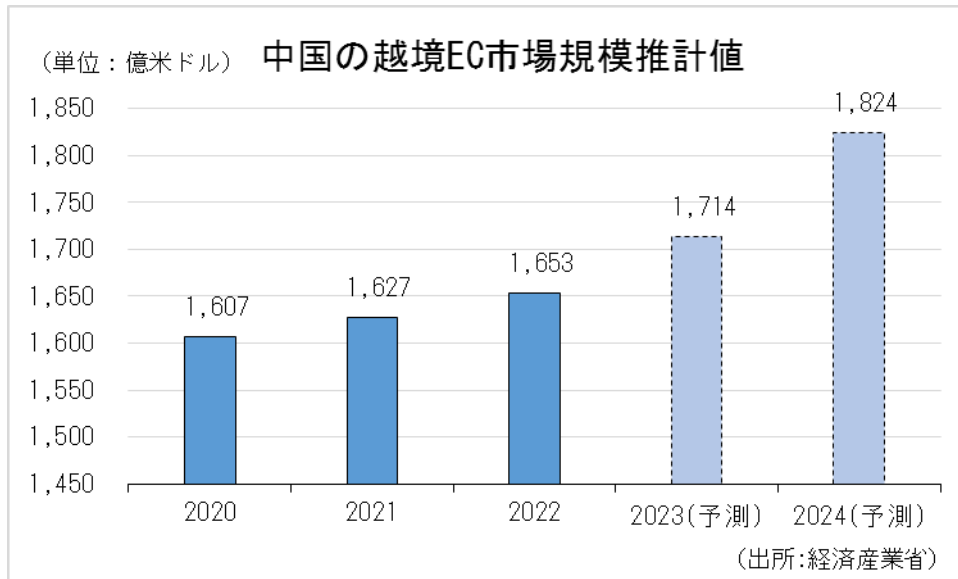
越境EC\*の取引も増加しており、化粧品や食品、衣料品等を中心に、日本の商品も多く購入されています。

\*国境を越えて取引を行うEC取引のこと。アリババ、京東など多くのECプラットフォームが越境ECモールを展開している。

2022年の中国EC販売総額に占める商品別割合

商品類別	EC販売総額に占める割合	販売額前年比増加率
衣料品	22.6%	2.6%
日用品	14.6%	3.3%
家電・AV機器	10.3%	7.7%
通信機器	7.5%	7.4%
穀物・油・食品	7.3%	15.6%
化粧品	6.4%	6.4%

(出所：2022年中国電子商務報告)



上述のとおり、中国のEC市場は規模が大きい上に、越境ECによる市場参入機会もあることから、多くの日本企業が関心を示しています。このような背景から、日本貿易振興機構（JETRO）も支援を行っており、2023年6月にはアリババと共同で、中国越境EC市場に挑戦する日本企業向けの新たなパッケージ型支援スキーム（アリババの越境ECプラットフォームである天猫国際への出品機会・プロモーション機会の提供等）を発表しました（同年8月31日に締切）。

また、本年11月に上海市で開催された大型見本市「第6回中国国際輸入博覧会」では、JETRO、日本政府観光局（JNTO）、日本の11の自治体が共同で、越境ECの商品を扱う「JAPAN MALL ブース」を設置しました。JAPAN MALL ブースは食品ブースと消費品ブースに分かれ、食品ブースでは150品目以上の日本産酒類を試飲できる特設エリアをはじめ、250品目以上の加工食品が並んでいました。消費品ブースでは、中国でアウトドア需要が高まっていることを踏まえ、400品目以上のアウトドア用品、ペット用品、スポーツケア用品等が出品されました。



(第6回中国国際輸入博覧会でのJETRO ジャパンモールブースの様子、筆者撮影)

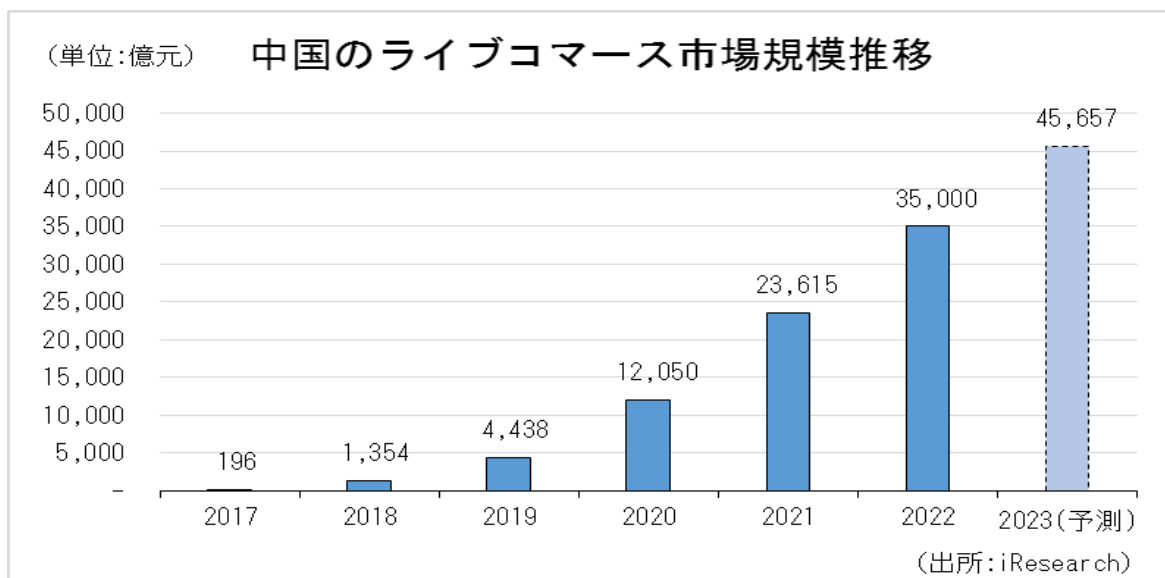
### 3. 中国 EC 市場の変化について

ここでは、冒頭で触れました拡大を続ける EC 市場の新たなけん引役として注目されている、ライブコマースとクイックコマースの拡大について説明します。

#### (1) ライブコマースの拡大

ライブコマースは SNS や動画配信などのサービスを活用して、インフルエンサーなど知名度の高い人物が商品の紹介や販売活動を行う手法のことを指します。ライブ配信中に、配信者と視聴者がコミュニケーションできることも大きな特徴です。

中国のコンサルティング会社 iResearch によると、2022 年のライブコマース市場規模は 3 兆 5,000 億元 (約 70 兆円) に達し、今後も大きく拡大する見通しです。2016 年にアリババの EC プラットフォームである淘宝 (タオバオ) が始めて以降、他の大手プラットフォームや SNS が次々と参入し、現在では多くの企業がライブコマースに取り組んでいます。



一方で、ライブコマースの売上は配信者（インフルエンサー）の人気により左右される面も大きく、配信者を雇うコストも年々増加しています。これから中国市場でライブコマースを検討する企業は、プラットフォームや配信者の選定についても検討する必要がありそうです。

## （２）クイックコマースの拡大

クイックコマースは、注文から配達完了までの時間が数十分～2時間程度で完結する取引形態のことで、フードデリバリーサービスの小売業界版です。コンビニやスーパーといった実店舗を商品保管拠点として、機動性の高いバイクで商品を配達します。

従来は生鮮食品を対象としたクイックコマースが普及していましたが、最近ではECプラットフォームがさまざまな店舗に出品を後押ししている流れもあり、家電や化粧品、酒類、花、ペット用品など幅広い商品を取り扱うようになり、従来型プラットフォームとの差が詰まっています。EC産業の研究を行う中国国際電子商務センターは、中国のクイックコマース市場は2025年に約1兆4,800億元（約29.6兆円）、2030年に約3兆5,700億元（約71.4兆円）になると予測しています。

## 4. おわりに

中国は人口14億人を有し、日本企業にとって魅力的な消費市場の一つです。

日本ブランドは「高品質」というイメージから、化粧品・食品等を中心に中国の消費者から高く評価されているものの、近年の中国小売市場の特徴として、若年層を中心に中国ブランドに対する評価が高まっています（「<sup>グオチャオ</sup>国潮」と呼ばれています）。日本ブランドに対する良いイメージが相対的に薄くなっており、日本企業のマーケティングにとって大きな変化と言えそうです。

足元では不動産市況の低迷や若年層の失業率上昇等を理由に節約志向が高まっていますが、今後も経済発展とともにEC市場も拡大するとみられ、消費者の嗜好も日々変化していることから、その動向に注目が集まりそうです。

以 上

《出典》

- ・ 経済産業省、中国国家统计局、各種報道

## お知らせ

千葉銀行上海駐在員事務所では、最新トピックスや投資環境など、中国に関する情報をタイムリーに提供する体制を整えております。

中国に拠点をお持ちのお客さまや、中国への進出を検討されているお客さまは、最寄りの取引店を通じ、お気軽にご相談下さい。

※ここに掲載されているデータや資料は、情報提供のみを目的としたもので、投資勧誘等を目的としたものではありません。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

※また、弊行は、かかる情報の正確性や妥当性については、責任を負うものではありません。

本レポートに関するお問い合わせは、千葉銀行 市場営業部 海外支店統括グループ  
(Tel : 03-3270-8526、e-mail : kaigai\_tokatsu@chibabank.co.jp) までお願いいたします。

以 上